

②日本分類
53 E 113

411
411
日本国特許庁

①特許出願公告

昭45-24729

⑩特許公報

④公告 昭和45年(1970)8月17日

発明の数 1

(全2頁)

JAPAN
GROUP
CLASS
RECORDED

CLASS. 113 E 113
Pub. No. 24729/70 Aug 28, 64; KIJIN YAGI

④締付螺杆

①特 願 昭

②出 願 昭39、

⑦発 明 者 出願人に同じ

⑧出 願 人 八木慶治

大阪市港区西田中町2の6 8

代 理 人 弁理士 鎌田嘉之

図面の簡単な説明

図面は本発明実施の一例を示すもので、第1図は正面図、第2図は同上の要部を示す縦断拡大側面図である。

発明の詳細な説明

本発明は例えば敷設するレール等の被固定物を絶えず安定した状態で支柱する締付螺杆に係るもので、即ち被物体への回動操作掛合用頭部を有するテーバー状主杆外周面に形成する螺糸先端周縁を下部から上方に至る程肉厚大ならしめ、且又螺糸の周縁は前記主杆の中心線上に平行する線上に突出状とした事の特徴とするもので、次に本発明実施の一例を示す図について説明すると下記の如くである。

図に於て1は頂部に回動掛止頭部2を有する下方に至る程小径としたテーバー状主杆で、この主杆1の下端から上方に形成する螺糸3は下方から上方に行く程肉厚大ならしめ、且又その周縁は該主杆1の中心線と平行する線上として1直線にしたもので、この形成は普通の螺糸3を第2図に示した如く前記主杆1の中心線上に沿う平行線Aの突出部分の螺糸3は実線位置に示した如く鎖線イ

CLAMPING SCREW BOLT characterized in that the thickness of the screw outer periphery to be formed at the outer periphery of a taper-shaped rod with a head to be engaged with an object so as to rotate it is increased gradually from the lower portion to the upper portion and the peripheral edge of the screw is projected on a line in parallel with the center line of said rod.

5 レールを掛止させ敷設する際この枕木への挿込み該主杆1の螺糸3は下部に至る程肉厚薄くしてある為挿込み回動を容易とならしめて挿込んでいくものであるが、その際下部螺糸3による形成喰込螺溝へ上部螺糸3が喰込んでいくにつれ肉厚が大10 としてある為その喰込み掛止状態は極めて良好となるものである。

本発明螺糸は上方に行く程肉厚大とした為従来と同様螺糸の突出方向への押圧する圧力はもとより上下方向の押圧圧力もかかつて螺糸と螺溝との摩擦が増大して喰込み掛止状態が極めて良好となり従つて固定物を絶えず安定した状態で締付支持する有益な効果を奏するのみならず、この螺糸の形成は普通のテーバー杆螺糸を該杆の中心線に平行する同一線上となるよう削設する事により容易に肉厚の異なるものが得ることができたものである。

特許請求の範囲

1 被物体への回動操作掛合用頭部を有するテーバー状主杆外周面に形成する螺糸先端周縁を下部から上方に至る程肉厚大ならしめ、且又螺糸の周縁は前記主杆の中心線上に平行する線上に突出状とした事の特徴とする締付螺杆。

引用文献

実 公 昭28-8914

BEST AVAILABLE COPY

~~85/46~~

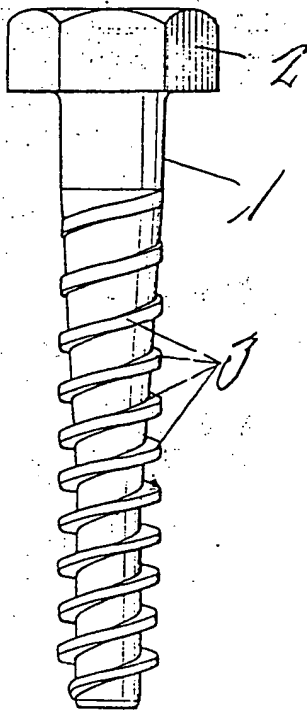
(2)

08-1970

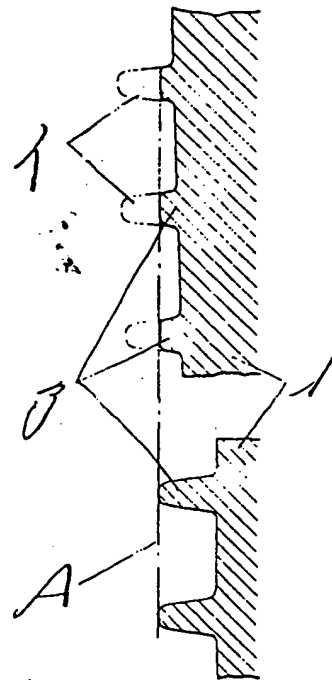
特公 昭45-24729

411
411

第1図



第2図



BEST AVAILABLE COPY